



第2回せたな町郷土芸能祭



大成中学校(久遠神楽)

2月18日(土)、大成町民センターで「第2回せたな町郷土芸能祭」が開催され、せたな町から北海久遠太鼓保存会、大成中学校(久遠神楽)の2団体、ゲスト出演として寺島絵里佳さんが出演しました。

太鼓、神楽の伝統芸能に、寺島絵里佳さんによる民謡で約200名の観客を楽しませていました。



北海久遠太鼓保存会



寺島絵里佳さん

平成23年度せたな町高齢者大学修了式

2月29日(水)、ふれあいプラザで「せたな町高齢者大学修了式」が行われました。

今年度の修了生は、北檜山いきがい学園が80名、大成くおん大学が29名、瀬棚寿大学が18名で合わせて127名となり、各大学の代表者へ修了証書が手渡されました。

式典終了後は、(株)セリオおすめや取締役相談役の関堂勝幸氏の記念講演会を行い、その後、修了を祝う会が行われ、1年間の思い出を学生同士で話し親睦を深めました。



「第17回ミニミニ大運動会」～大成区親子ふれあい推進事業～



大成区親子ふれあい推進事業実行委員会(石原広務実行委員長)主催の「第17回ミニミニ大運動会」が、3月4日(日)大成中学校体育館において開催され、幼児・小中高生・父母など関係者を含め約90名が参加しました。

参加者は4チームに分かれ、公認記録会の3分間なわとびコンテスト・3×3ジャンプ・10人11脚などに挑戦。また、ゴム玉入れやジャンボ風船バレー・スリッパ飛ばしなど、団体・グループ・個人種目を併せ、全11種目に汗を流しました。また、昼食ではバイキングとお楽しみ抽選会などを行い、大人も子どもも遊びを通して楽しいふれあいのひとときを過ごしました。

第5回せたな町民スキー大会

2月12日(日)、丹羽スキー場で「第5回せたな町民スキー大会」が開催されました。当日は時折、猛吹雪となる悪天候の中でしたが、幼児の部から一般の部まで、計64名が出場し、それぞれ日頃の練習の成果を発揮すべく、力強い滑りでタイムを競っていました。

競技の後には、参加者全員で丹羽女性会の皆さんが調理してくださった豚汁をいただき、その後はお楽しみ抽選会がありました。

なお、結果は以下のとおりです。



種別		第1位	第2位	第3位
幼児(就学前)	男子	本井 千陽(北) 16秒4	平山 健太(瀬) 17秒4	平澤 幸輝(大) 21秒4
	女子	長岡あかり(北) 18秒1	平澤まこと(大) 21秒2	村田 侑空(北) 21秒4
小学1・2年生	男子	本田 大和(北) 15秒2	田中 公(北) 17秒1	瀬戸 嵩介(北) 17秒4
	女子	丸山 依月(瀬) 16秒3	西村 百華(大) 17秒1	丸山 雪月(瀬) 17秒2
小学3・4年生	男子	丸山 乃貴(瀬) 20秒4	村田 涼(北) 21秒6	渡部 悠大(北) 22秒5
	女子	平澤いちこ(大) 23秒4	浜高 莉音(瀬) 24秒3	平山 遥(瀬) 24秒7
小学5・6年生	男子	平澤 亮斗(大) 25秒7	平澤 由揮(大) 29秒1	大関 翔也(北) 30秒2
	女子	田中彩由里(北) 30秒4	横田ひかり(大) 31秒2	
中学(全学年)	男子	横田 朝陽(北) 24秒1	田中 佑磨(北) 25秒3	手塚 大樹(大) 26秒0
一般(高校生含む)	男子	本井 貴志(北) 21秒8	櫻田 周(北) 22秒8	安藤 篤史(北) 23秒4
	女子	藤谷 久子(大) 26秒9	杉村 信子(大) 33秒6	栂田美和子(大) 平澤淳子(大) 36秒2

「渡り鳥観察会」～ふるさと学習講座～



2月25日(土)、大成区で21名が参加し「渡り鳥観察会」が開催されました。講師として、日本野鳥の会の伊勢さんに協力をしていただき、大成区の太田地区から長磯地区の海岸沿いをバスに乗り移動しながら、渡り鳥を観察しました。

天気にも恵まれ、参加者は双眼鏡を使い真剣に渡り鳥の生態を観察していました。今回の観察会では、オオワシ・シノリガモ・ウミウなど8種類ほどの鳥を観察することが出来ました。



第40回 水仙まつりロードレース大会 5月13日(日) 9時30分～

- 小学4年生以下 2km
- 小学5・6年生 3km
- 中学生 3km
- 一般 10km
- オープン 1km・2km・5km

▼雪がとけて川になって流れが速く、つらつらの子が恥ずかしく顔を隠す。もうすぐ春です。ねえ、キャンディーズ、春一番。

▼凍った白いキャンパスから、少しずつ春の絵の具がこぼれてきています。里山の中腹に純白の辛夷の花、雪代の川岸に薄緑のふきのとう。そして、日だまりに柔らかなお日様の光。そよ吹く風に春告鳥のさえずりも間近。長く厳しかった冬も終わり、全てが春色に染まる季節です。

▼春は旅立ちの季節。多くの人の列車が、次の目的地に向けて発車することでしょう。ある人は進学、ある人は就職、ある人は転居、ある人は転居、そして、ある人は第二の人生へと...

▼また、春は出会いの季節。あの町にもこの町にも、多くの人のバスが停車することでしょう。そして、それぞれの土地で「風のひと」と「土のひと」の織りなす「新しい風土」が紡がれるのでしょうか。

▼♪春よ遠き春よ.../春よまだ見ぬ春/迷い立ち止まるとき/夢をくれし君の/眼差しが肩を抱く... (松任谷由実・春よ、来い)

▼大地の息吹と躍動感を感じるこの時期は、新しい何かが生まれる予感がします。今は「まだ見ぬ春」であっても、「夢」を信じて歩いていきたいものですね。

◇2年間、本プリズムを執筆させていただきました。拙文を恥ずかしく思いながら号を重ねました。ご愛読に感謝しつつ、後任に引き継ぎます。 深謝。